

まつど更女だより

令和2年3月31日発行
第25号
編集・発行 / 松戸地区
更生保護女性会
発行責任者 / 太田麗子



会長に就任して

会長 太田 麗子

平成31年4月総会での承認により会長に就任し1年となります。対内的はもちろん対外的な仕事内容は相当な量でした。これをなされていた前佐南谷会長の体力、精神力には敬服しました。会員の皆様の笑顔と協力により今に至っています。感謝しております。

私たちの活動の場としては松戸まつり、4ヶ所の各ふれあい広場、児童養護施設晴香園等でのバザー、黒砂糖、ユリ根の販売をしながら更生保護の広報、各地域の方との触れ合いをしています。

中学校の会場では学生が準備や販売、後片付けの手伝いを楽しそうにする姿を見て、次世代の青少年の健全な育成を願う私達には、授業では習得できない教育を見て安心と頼もしさを感じました。

児童自立援助ホームこたにがわ学園、帰性会、観察所等の関わりもあります。

今後も社会復帰の為の支援を続けていきたいと思えます。当会のホームページも更新していますので一度ご覧下さい。

〔令和二年新時代にむけて〕

事業部



部長 伊藤奈美子

主な活動は、松戸まつりに参加するための準備です。牛乳パックを使ったカードケースの作成もしています。

研修部



部長 島倉 美賀

バス研修で少年院や刑務所の見学を行ない、また、ミニ集会では地域の方々と更生保護について勉強しています。

広報部



部長 大黒 幸子

「記憶を記録に」「鳥の眼、蟻の眼」活動の様子を多くの方に「伝える」ことを大切にしています。

支援部



部長 遠峯 厚子

晴香園の花壇に花を植え、草取り、水やりなどを行ない、フェスタにも参加しています。

『バス研修会』

令和元年9月12日(木)

松戸市民劇場前 → 群馬県庁昭和庁舎 → 臨江閣（車窓より） →
ホテルラシーネ新橋（昼食） → 榛名女子学園（視察） → 松戸市民劇場着

「榛名女子学園 視察研修会」に参加して

早川 祐子

元号が令和に変わり、新たな気持ちで参加しました。昨夜の雷豪雨とはうって変わり、良い天気にも恵まれ、今回初の試みで、聖徳大学BBS同好会の学生さんが参加し更女会員22名、BBS同好会員5名での研修会となりました。

最初に訪れた群馬県庁の36階展望台からは、昨夜の雨が止み空気が洗い流されたお陰で赤城・榛名の山並みを眼前に稜線までクッキリと見渡せ、みな感嘆の声があがっていました。皆さんの日ごろの心がけが良いのかしらね？

昼食はホテルでのバイキング。

そしていよいよ目的地、榛名女子学園に到着。刑務官から分かり易い説明を聞く中で、入所前の月収が高額な子もいるとのこと一同びっくりしました。BBS同好会の学生たちに「こういうところで働いてみませんか？」という問いもあり思わず考え込んでいた様子でした。

現在31名の入所者に対し、職員50名と2匹のパートナー犬「ハル」と「ルナ」による手厚い指導がなされているとのこと。人に心を開かない入所者には、犬と一緒に数日間過ごさせて心を開くのを待つということでした。又学校との違いは、一つのことを団体で行うということで、彼女たちの出来上がった作品を見せていただきましたがとても素晴らしいものでした。

各々に思ったこと感じたことを土産に施設を後にし、帰りのバスでは若い人も一緒に歌声を響かせ楽しみました。実り多い研修でした。



「榛名女子学園での研修」



群馬県庁昭和庁舎にて

聖徳大学 BBS同好会

令和元年9月12日

今回、榛名女子学園の見学に同行させていただき、とても貴重な体験させていただきました。榛名女子学園ほとこも設備が整っていて勉強ももちろ生活もとてもしやすいように見えました。

そして、榛名女子学園には、ルナちゃんやハルくんというワンちゃんのお話しを聞いて、動物には人には持っていない何か違う力があるのだらうなと感じました。

今日は本当にお世話になりました。ありがとうございました。

聖徳大学 BBS 同好会 参加者の感想

第一ブロック研修会に参加して

令和元年11月12日(火)

志田 菜穂子

令和になって初めてのブロック会議が、11月12日(火)市川市の妙好寺、てらcafé 燦燦、妙典1・2丁目自治会館を会場に行われました。総数は151名、松戸市からの参加は4名でした。

午前中は3つの会場11チームで分科会が行われ、テーマ「地域との連携・協働の推進」、サブテーマ「地域と共に暮らすには・・・」について、各地域からの発表や意見交換が行われました。松戸地区からは、B班の司会を末松さんが、全体会での発表を櫻井さんが担当しました。F班の太田会長と私の分科会では、それぞれの地域での活動報告、子ども食堂の話が中心となり、どのように運営しているのかという情報交換をしました。保険は加入しているのか、送迎は親の責任か、叱ると教育の違いが難しい等の意見がでました。その後、松ぼっくりを使用したけん玉作成を楽しく行い、昼食の時間となりました。手作りの豚汁や豆ごはん、から揚げは心も体も温まりました。昼食をとりながら鑑賞した行徳弁講座のビデオも楽しく拝見しました。

午後は、妙好寺客殿での全体会でした。普段は経験することのない客殿での研修は私の心を引き締めてくれました。千葉保護観察所長 鈴木庄一氏の講評より、「ボランティアは相手が喜んでくれるから続けられるのです。皆のためにと考えるより、どうやったら楽しく活動ができるのかということを考えて活動してください。更女会会員は死ぬまでです」と話して下さったことが印象に残りました。最後には、サプライズでニュッケルアルパという北欧のめずらしい楽器を使った演奏が、客殿全体に響きました。

主催である市川地区更生保護女性会の方々の手作りの品々や、心のこもったおもてなしが隅々まで行き届いた研修会となり、とても印象に残る1日となりました。

こたにがわ学園を訪問して

令和元年12月8日(日)

田岡 恵子



太田会長、吉本副会長、田岡の3名で小金原にある「児童自立援助ホームこたにがわ学園」を訪問し、園長の小谷川元樹さんにお話を伺い、施設見学をさせていただきました。

「こたにがわ学園」は、社会人としての生活の常識や、就職して収入を得るための基礎基本を身に付けさせるための24時間体制の支援をおこなっている施設です。

現在、16歳から19歳までの女子7名が生活しており職員は男女5名で食事の用意や相談、夜間勤務等を交代で行っています。

学園の運営は、国県からの補助金、個人・団体の寄付、正会員・賛助会員の会費等によって賄われており、更女会としても毎年松戸まつりの売り上げの一部を寄付しています。

学費については、今年度までは国からの支給で高校まで通っていますが、来年度からは、支給が拡大され大学まで通えるようになるそうです。これは色々な意味で大変大きな支えとなり、安心して勉学に励むことができるようになると思います。

学園の子ども達は、生活リズムが皆違うためお部屋は完全個室で、事務室と居住空間は扉で仕切られ、食堂の炊飯器にはいつでも暖かいご飯が入っています。職員の皆さんは子ども達にとって居心地の良い家にしようと細かなところにも配慮をして、見守り支援をしていることがわかりました。



「松戸まつり」
令和元年 10月5・6日



「馬橋ふれあい広場」
令和元年 11月10日



「五香ふれあい広場」
令和元年 11月30日

「新入会員研修会」に参加して

令和元年6月25日(火)



佐藤 とも子

この度の研修で、更生保護女性会活動について詳しく知ることができました。

更生保護活動とは「保護観察処遇への協力」保護観察所、保護司と連携し、保護観察を受けている人に対する処遇の一環として行われている「社会貢献活動」や「就労支援活動」など保護観察処遇への協力をしている。「更生保護施設への支援」更生保護施設で、入寮者が家庭的な雰囲気の中で一日も早く社会復帰ができるよう支援協力をしている。

矯正施設への支援 刑務所や少年院などを訪問し、収容者を励ましたり、立ち直りのための良い環境を整えることなどに協力している。

犯罪非行防止活動 犯罪・非行を防止し、だれもが安心して暮らせる地域社会づくりのために活動している。

子育て支援活動 子育て中の親を支え、地域ぐるみで子供を見守り育てる活動を行っている。

地域との連携・協働活動 住んでいる地域の一員とし、住みやすい地域社会づくりに向けて活動している。
犯罪を犯した人が刑務所を出て一人でも住み、天涯孤独では真面目にならない。この世にいても何の役に立たない必要ないと思った人が、人の思いやりを受け、繋がりを持つことによって「私を思ってくれた方がいてくれた、この世に生まれてよかった、世の役に立ちたい」と考える様になる。

自分とのかかわりあいがある人がいれば、立ち直っていけるから更女会の活動が重要になっていく事も知ることができました。

私が感銘を受けた言葉です。「口は人を励ます為。耳は人の意見を聞く為。眼は人の良い所を見る為。手足は人に尽くす為。心は人の意をくみ取る為。」

これからも、皆さんと共に更生の為に努めて行きます。

平成31年度 更生保護女性会総会

平成31年4月5日(金)



佐南谷前会長ありがとうございました。

表彰おめでとうございます

更生保護制度施行 70 周年記念 第 63 回 千葉県更生保護大会

令和元年11月21日(木)
千葉県文化会館



- ◇千葉保護観察所長感謝状
太田 麗子 様
- ◇千葉県更生保護女性連盟会長表彰
伊藤 奈美子 様

更生保護関連団体交流会



松戸地区保護司会・松戸地区協力雇用主会・更女会
令和2年2月3日(月)

更生保護女性会とは

明るく・楽しく・元氣良く、次世代を担う
青少年の育成で、その心とは過ちに陥った
人達を包摂し、共生する思想です。